日本共産党 2023年 5･6月号

柏市議団News

ひらの光一

くさかみや子

わたべ和子

武藤みつえ

やざわ英雄

市政への
ご意見、ご要望を
お寄せください。

発行：日本共産党柏市議会議員団　柏市増尾台1-2-16　☎04-7176-3711　FAX.04-7176-3716

柏市議会
共産党5議席の値打ち

一昨年就任した太田和美市長のもとで、今回この紙面で取り上げている市民の願いが次つぎと実現・前進しています。太田市長誕生の背景の１つには、前市政に批判的な議員を中心とした共同の広がりがありました。

８年前の市議選で４議席から５議席に前進した日本共産党市議団は、市民の願いを実現するために、市議会の中で共同を広げることを特別に重視して活動してきました。

他の会派・無所属議員に呼びかけ、議案提案、予算の組み替え提案を、繰り返し共同で行い、議案によっては、賛成17・反対18（自民、公明など）という拮抗した状況も生まれました。

日本共産党 2018年 春季号

柏市議団News

発行：日本共産党柏市議会議員団　柏市増尾台1-2-16　☎7176-3711　FAX.7176-3716

市政へのご意見、ご要望をお寄せください。

子育て3条例を提出 3月議会

① 学校給食費を3人目の子から無料に ➡ 否決
② 国民健康保険料（均等割）を3人目の子から無料に ➡ 否決
③ 医療費助成の所得制限を撤廃 ➡ 否決 ➡ 8月から実現

3つの条例案への各会派と各議員の態度

議員提出議案　第1号　採決結果

投票総数	35人
賛成	14人
反対	21人

会派	議員名	①	②	③
柏清風	阿比留義顕	×	×	×
	石井　昭一	×	×	×
	後藤浩一郎	×	×	×
	佐藤勝次郎	×	×	×
	駒川　忠弘	×	×	×
	戸谷　憲人	×	×	×
	日暮　栄治	×	×	×
	古川　隆史	×	×	×
	山内　弘一	×	×	×
	山田　一一	×	×	×
	山中　一男	×	×	×
公明	小松　幸子	×	×	×
	田中　晋	×	×	×
	塚本竜太郎	×	×	×
	中島　俊	×	×	×
	橋口　幸生	×	×	×
	林　伸司	×	×	×
共産	臼下みや子	○	○	○
	平野　光一	○	○	○
	武藤美津江	○	○	○
	矢澤　英雄	○	○	○
	渡部　和子	○	○	○
柏愛	岡田　智佳	×	×	×
	高松健太郎	○	○	×
	永野　正敏	×	×	×
	山下　洋輔	×	×	×
	吉田　進	×	×	×
市民	林　紗絵子	○	○	○
	松本　寛道	○	○	○
	宮田　清子	○	○	○
護憲	末永　康文	○	○	○
	本池奈美枝	○	○	○
無所属	内田　博紀	○	○	○
	上橋　泉	○	棄	○
	北村　和之	○	○	○

※小泉文子議員は議長、高松健太郎議員は採決時は無所属

実現までであと一歩です。

3月市議会で日本共産党は、子育て支援の3つの条例案を準備し、すべての会派・議員に賛同と共同提案を呼びかけました。

決め手は市民の声

柏清風・公明・柏愛の反対で3つとも否決されましたが、共産・市民・護憲・無所属の共同が力を発揮し、医療費助成の所得制限の撤廃を市長が表明しました。

決め手は市民の声。反対した議員にぜひ働きかけを。

2018年春季号

子ども医療費助成
40年来の提案・運動の成果
ついに18歳まで拡大

1996年に1歳未満時から始まった柏市の子ども医療費助成制度。ついにこの4月から18歳まで拡大されました。当初は自民・公明などの反対を乗り越えながらの困難な歩みでした。日本共産党は住民運動と連携し、議会内での共同を広げ、一歩一歩前進させてきました。5年前に所得制限も撤廃させています。いまでは、全国市長会なども「全国一律の国の制度を」と要求しています。

住民の運動と連携し議会内で共同広げ市民の願いを実現

わたべ和子　ひらの光一　くさかみや子　武藤かつえ

日本共産党 2018年 夏季号

柏市議団News

発行：日本共産党柏市議会議員団　柏市増尾台1-2-16　☎7176-3711　FAX.7176-3716

市政へのご意見、ご要望をお寄せください。

学校給食 6月議会で質問集中

給食を無料に 共産党が署名開始

以降無償化の条例提案が超党派で行われた前議会につづき、6月議会でも、多くの議員が給食費の軽減を質問で取り上げました。共産党市議団は必ず実現させようと署名運動を開始しました。

ぜひ実現して！「子どもが3人。学校の費用がたいへんです」

柏市は何でも他市の後追い。なぜなのか

全国で完全無償化あるいは小・中のいずれかで実現しているのは昨年9月段階で83自治体。「第3子以降」などを含めると数百自治体にのぼるとみられます。千葉県内は9自治体です。3月議会に共産党を含む13人で共同提案した一部無償化の条例案は自民・公明、長浜の会派の反対で否決されましたが、6月議会では公明党議員も質問し、保守系議員からも「柏市は何でも他市の後追い。なぜか」との声が上がっています。完全無償化は一般会計予算の1%強で実現できます。政治を動かすのは市民の声。ぜひ署名にご協力ください。

やざわ市議（写真下の左端）と署名に取り組む向原・旭町地域のみなさん

2018年夏季号

給食費無償化と自校給食

全国に広がる完全無償化の波

柏市ではことし1月から、物価高騰対策として学校給食費の第3子以降の無償化が実施され、今年度も継続されます。学校給食費無償化は共産党柏市議団が長年求めてきました。柏市での実施は大きな一歩です。

2018年3月議会では、他会派の議員などに呼びかけ、「給食費の第3子以降無償化」の条例を共同提案。柏清風（自民系会派）、公明党、柏愛倶楽部の反対で、実現には至りませんでした。日本共産党はその後も粘り強く議会で主張し、市民に署名も呼びかけて市長に届けました。

無償化は全国で広がり、実施自治体はこの5年間で3倍以上の254へ。どこでも共産党議員が頑張っています。柏市でも「給食費ゼロ」実現をめざします。

市民と力合わせセンター化を阻止

前市長が突然打ち出した「学校給食センター化構想」に、日本共産党は徹底した反対の論陣を張りました。市民に「自校給食守れ」の署名を呼びかけ、市長選挙の一大争点に押し上げました。

自校方式を守ることを公約に掲げて当選した太田市長は、就任後ただちに自校方式維持のための調査を指示しました。今年度から老朽化した給食室の整備が順次始まります。

子ども医療費助成
柏市での制度拡充の歩み（通院）

1996年	1歳未満（通院、以下同じ）
1997年	3歳未満
1998年	4歳未満
2003年	所得制限撤廃・窓口で無料に（自己負担は200円）
2006年	新日本婦人の会（新婦人）、柏市医師会、私立幼稚園保護者会の制度拡充を求める請願採択
2007年	新婦人の請願採択 5歳未満まで助成拡大 共産党が就学前まで対象を拡大する条例提案
2008年	共産党、小6まで拡大する予算の組み替え提案 小学校就学前まで助成拡大 保育問題協議会(保問協)の請願採択
2009年	共産党、中3まで拡大する予算組み替え提案
2010年	共産党、中3まで拡大する予算組み替え提案 小学3年生まで助成拡大
2011年	共産党、中3まで拡大する予算組み替え提案 新婦人の請願採択
2013年	保問協の請願採択
2014年	中学3年生まで助成拡大（自己負担300円、小4以上に所得制限導入）
2018年	所得制限廃止の条例を共同提案 8月から所得制限廃止
2020年	高3まで助成を拡大する予算の組み替えを共同提案
2021年	太田和美さん、市長に初当選
2023年	高3（18歳）まで助成拡大

日本共産党がめざす
子育て支援・4つの「ゼロ」
2面